

個別施設計画

策定年月 R3.1

施設名	岡山朝日高等学校			所在地	岡山市中区古京町2-2-21		
敷地面積	63,937.12 m ²			棟数	67 棟 (計画記載対象 14 棟)		
延床面積	16,545.58 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 6弱		津波 -		浸水 0.01m以上0.5m未満			
建築規制	市街化区域、第一種低層住居専用地域 建ぺい率50%、容積率100%						
エネルギー使用量 (2019年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)			
	519,480 kWh	1,531 m ³	5,004 m ³	60 ℓ			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 岡山市避難所(土砂災害、洪水、津波、地震)協定による避難場所						

1 施設内建物の概況

名称	講堂(12棟)14	特別教室棟(62棟)23	体育館(96棟)35-1,2,3
築年(西暦)	1954年	1971年	1973年
構造	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	680.40 m ²	917.81 m ²	1487.43 m ²
延床面積	891.04 m ²	1696.64 m ²	1687.40 m ²
主要な用途 (室名等)	講堂	化学教室 物理教室 生物教室	体育館
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	低	高	高
耐震性 ※1	無	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし	消防設備(自動火災報知設備)

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	武道場(109棟)37-1	武道場(126棟)37-2	記念館(101棟)39
築年(西暦)	1982年	1986年	1974年
構造	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	0.00 m ²	270.55 m ²	325.62 m ²
延床面積	270.14 m ²	270.55 m ²	1157.47 m ²
主要な用途 (室名等)	剣道場	ダンス場	ラウンジ 食堂
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	給排水設備 消火設備

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	芸術教室棟(122棟)40	管理教室棟(140棟)45	特別教室棟(141棟)46
築年(西暦)	1986年	2005年	2006年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	197.46 m ²	1118.07 m ²	299.29 m ²
延床面積	592.38 m ²	4167.77 m ²	897.87 m ²
主要な用途 (室名等)	美術教室 書道教室 音楽教室	普通教室 事務室 職員室	家庭実習室 会議室 コンピュータ教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	図書館棟(142棟)47	同窓会館(104棟)50	柔道場(21棟)2
築年(西暦)	2006年	1964年	1919年
構造	鉄筋コンクリート造 1階	鉄筋コンクリート造 2階	木造 1階
建築面積	483.11 m ²	191.64 m ²	241.32 m ²
延床面積	483.11 m ²	385.88 m ²	241.32 m ²
主要な用途 (室名等)	図書館	同窓会館	柔道場
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	空調設備	
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	不明
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	同窓資料館(118棟)	昇降口・渡廊下棟(143棟)
築年(西暦)	1984 年	2006 年
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階	鉄筋コンクリート造 3 階
建築面積	218.18 m ²	205.42 m ²
延床面積	453.62 m ²	336.26 m ²
主要な用途 (室名等)	職員室 合併教室	昇降口 渡り廊下
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備	消防設備(自動火災報知設備)
利用状況	高	高
耐震性 ※1	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	
	中性化 ※3	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。
耐震性のない建物については除却する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
講堂(12棟)14	除却を行う。
特別教室棟(62棟)23	予防保全を図る。
体育館(96棟)35-1,2,3	予防保全を図る。
武道場(109棟)37-1	長寿命化改修を行う。
武道場(126棟)37-2	長寿命化改修を行う。
記念館(101棟)39	予防保全を図る。
芸術教室棟(122棟)40	長寿命化改修を行う。
管理教室棟(140棟)45	予防保全を図る。
特別教室棟(141棟)46	予防保全を図る。
図書館棟(142棟)47	予防保全を図る。
同窓会館(104棟)50	予防保全を図る。
柔道場(21棟)2	予防保全を図る。
同窓資料館(118棟)	予防保全を図る。
昇降口・渡廊下棟(143棟)	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

1 長寿命化改修
内部・外部の改修を行う。
(109棟、126棟)2023年度以降設計・施工 (122棟)2025年度以降設計・施工

2 除却
除却を行う。
(12棟)2022年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
講堂(12棟)14	除却						設計・施工				
特別教室棟(62棟)23	予防保全				予防保全を図る。						
体育館(96棟)35-1,2,3	予防保全				予防保全を図る。						
武道場(109棟)37-1	長寿命化改修						設計・施工				
武道場(126棟)37-2	長寿命化改修						設計・施工 109棟に含める				
記念館(101棟)39	予防保全				予防保全を図る。						
芸術教室棟(122棟)40	長寿命化改修								設計・施工 1		
管理教室棟(140棟)45	予防保全				予防保全を図る。						
特別教室棟(141棟)46	予防保全				予防保全を図る。						
図書館棟(142棟)47	予防保全				予防保全を図る。						
同窓会館(104棟)50	予防保全				予防保全を図る。						
柔道場(21棟)2	予防保全				予防保全を図る。						

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
同窓資料館 (118棟)	予防保全				予防保全を図る。						
昇降口・渡廊下 棟(143棟)	予防保全				予防保全を図る。						

4. 概算費用

総額 2億円(長寿命化改修)